一、國際勞働會議ニ於テ問題化セラレツヽアル「ソシアル、ダンピング」問題ニ付キ大要左ノ如キ意見ヲ述ベタ

日本商品ガ最近異常ナル勢ヲ以テ世界各國市場ニ進出シ英米佛其他歐米産業品ガ非常ナル脅威ト壓迫ヲ受ケ各國共日本商品ヲ驅逐スルコトニ腐心シ之ニ對ル米[illegible]歐米デハ日本ノ産業家ガ低賃金ト勞働時間延長ニ依ル勞働搾取ノ産物デ内外不正競爭ニ依ルモノ[illegible]ト攻撃シテ居ル[illegible]處期待ニ副ウ樣努力スル旨答弁アリ各國ヘ日本商品ノ進出ニ對抗シテ今后益々關税ノ障壁ヲ高メ絶對驅逐ノ方策ニ出ヅルデアロウガ其結果トシテ國内的ニモ國際的ニモ忌々シキ問題ガ起ルデアロウコトヲ豫想シナケレバナラヌ。來ルベキ國際勞働會議ニ於日本ノ勞働時間ガ問題ノ焦點トナル[illegible]デアルガ近ク國際勞働事務局調査部長モーレット氏モ來朝サルヽニ付キ充分本問題ヲ檢討シ善處セレン事ヲ望ム尚主催ノ下ニ勞資並

一、會計報告及事業報告キ其實現ニ邁進スベキ方針ヲ採ルコトガ妥當